

Pallet

第6号

発行 令和元年6月1日



里親支援専門相談員としての目

里親支援専門相談員会会長 宇田川政男

里親支援専門相談員とは、里親家庭に軸を置いた新しい専門職です。外部機関や他の関係者と関わることが多くなる中、ソーシャルワークを通じて私たちは『他の人たちが持つ社会的養護下の子ども達の印象』に直面します。そうか、世間の人ってこんなふうにいるんだ・・・。

施設内部にいただけではなかなか感じ得なかった『外から見た施設養護の印象』『外から見た社会的養護下の子ども達の印象』に直面した時に、私たちのとる行動や姿勢、考え方がダイレクトに外部印象になることが多々あります。逆も然りで、私たちが施設内部にどのように働きかけるかで大きくイメージがかわってくることもあるように感じます。

良質なイメージを共有できることは、そのまま子ども達への財産になります。私たちが作るネットワークそのものが子ども達に渡せるプレゼントです。

新しい時代『令和』には、どんなプレゼントを子ども達に渡すことができるでしょうか？

各地区の 今年度の活動

市川・柏地区

柏地区では、ファミリーホーム「新松戸七丁目の家」と協働して、自立支援計画表作成の試行をします。
市川支部では毎年恒例のキャンプで自然を満喫する予定。今年も元気いっぱい市川です。

君津地区

今年度も里親会と連携しながらサロンの開催、学習会を充実させていきたいと思っています。里親支援機関の充実している地区なので、連携を密にして里親子支援に関わっていききたいと思います。



中央・千葉市地区

千葉市では4月よりやまびこプレーパーク、千葉そごうでのパネル展示など盛りだくさんで活動しています。7月には里親体験談を聞く会を準備中・・・。
中央支部では、念願の相談員が2人も！ 八千代市のマルシェ（5/11～12）でのお手伝いなど、様々な形でサポートできたらと思います。

とうそう（銚子）地区

今年度は、里親さんとのコミュニケーションの機会を沢山作っていききたいと思います。また、継続して推進活動を行い、里親登録へ繋がるよう頑張っていきたいと思っています。

東上総地区

今年も東上総地区の市町村で里親制度PR活動『知ってほしいな。里親制度』を行います。いすみ子ども祭り5/5、茂原福祉子ども祭り5/12、大網子どもフェスタ12月、その他の市町村でPRできる場所がありましたら、ご紹介ください。

ちばFF連絡会

手をつなぐ 里親会と施設と

これまで任意団体であった里親支援専門相談員会が、平成29年度より千葉県児童福祉施設協議会（以下、千児協）の組織委員会として発足しました。これを受け、社会的養護下の子どもたちの養育に対して、里親会と千児協が共同で取り組める活動を模索していく場として、2、3ヶ月に1回のペースで意見交換会を行ってきました。この会議の名前を「ちばFF連絡会」と命名しました。FFとはFOSTER & FACILITYの意味です。

施設職員と里親との距離をもっと近づけ、お互いの関係性が作れるように、里親が施設を気軽に活用してもらえるような取り組みを始めている施設もあります。しかしこの施設も一部の繋がりのある里親にしか案内が出せていない現状がありました。

そこで「施設と里親会で共有できること」を目指して、里親会と千児協の共同活動として、気軽に交流できるイベントを考え、できることから実施してみることになりました。

千児協子ども文化祭 参加

11/11 秋晴れの日曜日、袖ヶ浦市民会館で、第18回千児協文化祭が開催され、会館のフロアに7枚の里親のパネルを展示しました。展示物の周りには、風船や折り紙の輪飾りで素敵にレイアウトされており、そして、パネルの中の写真を覗き込む方もおられ、大勢の方に、「里親」を紹介することが出来ました。

開会式では、岩橋会長から「文化祭に初めて来ました。今日1日 楽しみ にしています！」と元気の出る挨拶を頂きました。そして、午後の部の開始時、廣瀬ホームの廣瀬氏の挨拶は、赤ちゃんをおんぶしながら「小さな点が集まって、線になっていくと良いですね」とパワーいっぱいのお話しを聞かせて頂きました。



あるある子育て座談会

里親と施設職員が集まって、子どもについて何でも話し合おうというものでした。普段子ども達を養育している施設職員と里親が顔を合わせ、話をするという機会は初めての試みでした。

「はじめまして」から会は始まり、里親の思い、施設への質問、子育ての難しさなどについて語りあい、話が途切れることはありませんでした。そして、同じ社会的養護を必要とする子ども達を養育している者同士が、顔を合わせて話をすることはとても有意義であり、今後も続けて実施していけると良いという声が聞かれました。

今後も里親と施設がお互いに理解を深めていけるよう、里親会と千児協の共同活動として、気軽に交流できるイベントや里親家庭が千児協行事へ参加できるよう積極的に取り組んでいきたいと思っています。

「とうかい リレー・エッセイ 子育て支援センター」

JR 旭駅から徒歩 20 分の住宅街の中に、平成 30 年 6 月センターを開設し、1 年目が過ぎようとしております。近くには、桜で有名な袋公園があり、長閑なところです。

「とうかい 子育て支援センター」は、子どもとその家族のための相談・支援機関です。相談員・心理士が対応し、様々な問題について一緒に考えていきます。地域子育て支援と里親支援を中心に活動しております。

一人で抱え込まないで… 子どものこと 思っていること まずは話してみませんか？





ファミリーホーム F H 訪問



窓を開けると、かわいい赤ちゃんの泣き声がお出迎え。うわあ、いるいる。明るい色合いの部屋を4人の赤ちゃんが元気に歩いたり、寝返りうったり・・・冷蔵庫には卒業していった子供のすまし顔の写真が並んでいます。

Q とっても素敵なおうちですね。開設はいつ頃ですか？
築30年の古い家なんです。やっと見つけた物件です。開設は2016年6月。親元で育つことのできない子ども達が乳児院ではなく里親に委託されるように、そのための一時期の受け皿となれるようファミリーホームを開設しました。柏児相、市川児相管轄の乳児を受けています。

子ども達に少しでも早く、親元や里親さん宅での安定した生活を保障できるよう、児童相談所の指示に従って実親さん里親さんに繋げる役目、「黒子」のような仕事だな、と思っています。

Q 今まで何人くらいの赤ちゃんを実親さんや里親さんに繋がられたのですか？

去年の12月までの2年半の間にお預かりしたお子さんは全部で24人です。児童相談所から一時的に預かる一時保護委託が最近とても増えていますね。期間は短いと1日から1ヶ月ちょっと、本委託でも長くて1年くらいで実親や里親のもとへ巣立っていきます。実親の元に帰るお子さんの方が多くですが、里親委託に繋がった子は今までで9人いました。

ファミリーホームの定員は6人ですが、一度にお預かりするのはたいてい4人、時々5人で、6人目の枠は緊急の依頼に対応できるよう、空けるようにしています。

Q 「新松戸七丁目の家」では、実際どのようにして

実親さん里親さんに繋げていらっしゃるのですか？

できるだけ不安を除くよう丁寧に、でもきちんと養育の技術を伝えています。これは、独自に作成した「ハローベビチェック表」です。例えば、おむつの替え方だけでなく、ウンチが服に漏れた時どうするか、とか、寝かしつけのコツだとか、薬の飲ませ方とか具体的実践的にその子に合った方法を説明、実践してもらい、確認するための表です。内泊できる独立した部屋があって親子だけで過ごす時間を体験してもらっています。

うちに来たばかりの頃表情がなかった赤ちゃんが次第に笑顔が多くなるようになる・・・でもね、ここから実親家庭や里親家庭に落ち着くとね、その笑顔が全く違う。楽しくて楽しくて仕方がないというキラキラした笑顔になりますね。我々はかないません。

ハローベビチェック表 →

子どものいる風景

3人の孫がいる。内孫1人に外孫2人。4歳3歳2歳、3人とも男の子、3人が我が家に集まると・・・部屋から廊下を車に乗って走り回り、ジャングルジムのてっぺんで両手を離し得意なポーズ。その脇で敷居につまずき、大きな声で泣きじゃくる。目なんて、とても離せない。家中に子どもの声と大人の声が響きわたる。



外孫が帰って、疲れ果てて座ると、シーン・・・部屋の隅っこに車のおもちゃが転がって、ちよっぴり寂しさがこみあげる。腕白でもいい、元気に育てと日々願う。

(獅子吼 ゆりこババ)



「ファミリーホーム」とは、家庭環境を失った子ども(定員5~6名)を里親や児童養護施設職員など経験豊かな養育者がその家庭に迎え入れて養育する「家庭養護」です。

Q 実親さんと直接交流されているのですか？

そうですね。全員ではありませんが・・・。

ご本人が望むならば、巣立った後の交流も続いています。1か月後3か月後に声かけをしたりレスパイトも受けています。ちょっとした相談を受けたり、成長した子ども達の写真や年賀状をいただくと、本当に嬉しいです。遊びに来て、親子で泊まれるお部屋もホームにはあります。

Q ファミリーホームならではの良さって何ですか？

施設の良さと家庭の良さ、両方をミックスさせた「家」にしたいと思っています。衛生管理にはしっかりと気を配り、食器も衣服やオムツ類誰が見てもわかる形ではっきりと分けています。日中は保健師さんや看護師さん(4月から)等慣れたスタッフのローテーションで安全性には充分配慮しています。またホーム運営には第三者委員会を設置、風通しの良さも心掛けています。「施設」としての良さですね。でも日々の暮らしのスタイルは「家庭」です。こじんまりした空間でお互いにいつも顔が見える生活をしています。

Q 最後に「新松戸七丁目の家」が目指すものは？

これまでの児童養護施設職員として里親として、他市でのファミリーホームでの経験を踏まえ、社会的養護下の子ども達ができるだけ早く実親、里親家庭に繋がり、繋がったあとも安定した家庭生活を続けていけるよう、ささやかなお手伝いがしたいと思っています。

赤ちゃんのスペース



千葉県内の里親支援専門相談員を紹介しま〜す

里親支援専門相談員とは、
里親家庭・ファミリーホームと
施設を、そして
地域を繋ぐ『人』です。

お気軽にお電話くださいね。

お題！！ 春を感じる時・・・

誰がどんな春を感じてるかな？ 当ててみて下さい。



① コーヒーを入れるのが好きです。そろそろ水出しにします。春だなあ・・・

② 目のかゆみ、くしゃみ、鼻水が止まらなくなった時、春を感じます。

③ お花見をしました。美味しい料理やお酒をたくさんいただきました。

④ 鼻歌を歌いながら自転車を走らせて、柔らかな風と共に顔に汗がにじみ出した時。

⑤ テントウムシを見つけた時、春だなあと感じます。

⑥ 茂原市は桜まつりで有名な茂原公園がある。桜より屋根のイカ様で春を感じる私♡

⑦ だんぼぼ、菜の花、桜のトンネル、陽だまりの中、そよ風を感じて歩く時・・・

⑧ 春生まれの私は、1つ大人になると春を感じます。

⑨ フーフー、あ〜か。頑張れ頑張れし〜ろ。そんな声が中庭にあふれると、毎年春が来たと思います。

⑩ 梅の香、イヌフグリの青花、つくし、菜の花畑とカエルの声、そして魚の「のっこみ」。春だなあ。

⑪ 入学、進級、子ども達の喜ぶ顔。新たなスタート！私は花粉症 (>_<)

⑫ 家の前の公園の桜が咲いた時、その公園から元気な子ども達の声が聞こえる時。

里親支援専門相談員 連絡先一覧

地区	事業形態	施設名	氏名	電話	メールアドレス	
中央・千葉市地区	①	乳児院	ほうゆうベビーホーム	金子美代子	047(409)5550	babyhome@houyukai.or.jp
	②	児童養護施設	成田学園	齋藤大作	0476(27)5451	suginoko@it5.so-net.ne.jp
	③	乳児院	イーハトーブ	スガサハアジソン 菅佐原俊	043(440)0020	s.mrk@y-kaitaku.or.jp
	④	児童養護施設	ほうゆう・キッズホーム	林美緒	043(215)2100	kidshome@houyukai.or.jp
	⑤	乳児院	ほうゆうエンジェルホーム	及川悠香	043(215)2155	angelhome@houyukai.or.jp
	⑥	児童養護施設	房総双葉学園	野村恵美	043(251)2612	sato-futaba@mbr.nifty.com
	⑦	児童養護施設	千葉みらい響の杜学園	鈴木 郷	043(310)6001	hibiki@tenyuukai.jp
市川・柏地区	⑧	児童養護施設	おんちよう園	河村亮子	047(466)4020	info@onchoen.or.jp
	⑨	児童養護施設	晴香園	門馬真之	047(345)2722	info@s-haruka.org
銚子 地区	⑩	児童養護施設	東海学園	穴倉友紀子	0479(62)0758	tokai-g@celery.ocn.ne.jp
	⑪	児童養護施設	香取学園 松葉寮	早田絵美	0478(86)3535	katorigakuen@at.wakwak.com
	⑫	児童養護施設	滝郷学園	滑川貴子	0479(55)3027	takisato@circus.ocn.ne.jp
君津 地区	⑬	児童養護施設	野の花の家	宇田川政男	0438(53)2787	viola@chime.ocn.ne.jp
	⑭	児童養護施設	はぐくみの杜君津	斉田由美	0439(70)1117	hagukuminomori@kazenomura.jp
	⑮	乳児院	はぐくみの杜君津 赤ちゃんの家	タカノキミ 田中聡子	0439(27)0300	akachannoie2@kazenomura.jp
東上総地区	⑯	児童養護施設	子山ホーム	柴田弘子	0470(62)2325	h.shibata@h-koyama.or.jp
	⑰	児童養護施設	獅子吼園	中村由理子	0475(22)2397	shishiku-449@orion.ocn.ne.jp
	⑱	児童養護施設	一宮学園	大矢真弓	0475(42)2069	siig@atlas.plala.or.jp
里親支援専門相談員以外の里親担当を配置する施設						
	⑲	乳児院	聖愛乳児園	小曾根貴子(FSW)	0470(87)7550	uta1782@yahoo.co.jp
	⑳	児童養護施設	びつき	田村寛正(心理)	0438(40)5900	hakuwakai@cc.wakwak.com